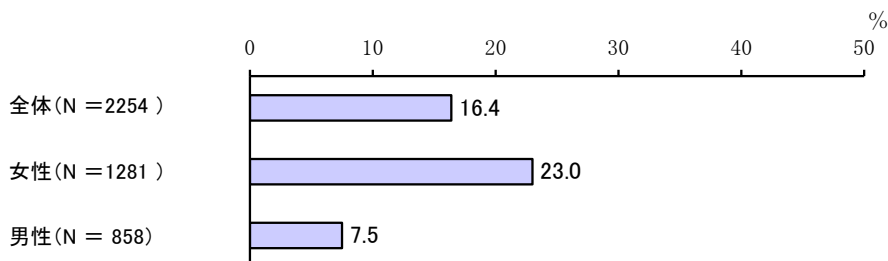


## 7 男女間の暴力について

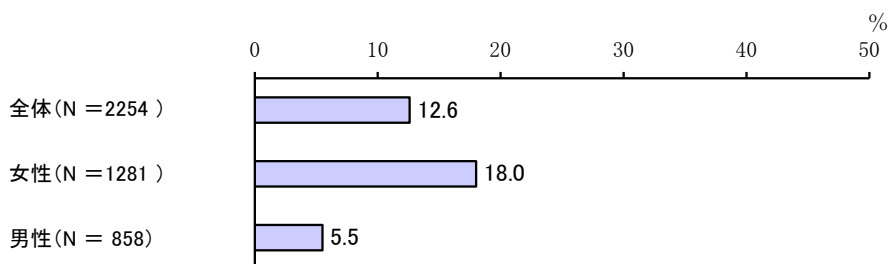
問 34 あなたは、最近3年の間に、職場・学校・地域などの身近なところで、セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）やマタニティ・ハラスメント（働く女性が妊娠・出産に関連し職場において受ける精神的・肉体的いやがらせ）を受けたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

### セクシュアル・ハラスメントの被害経験率

#### 全体

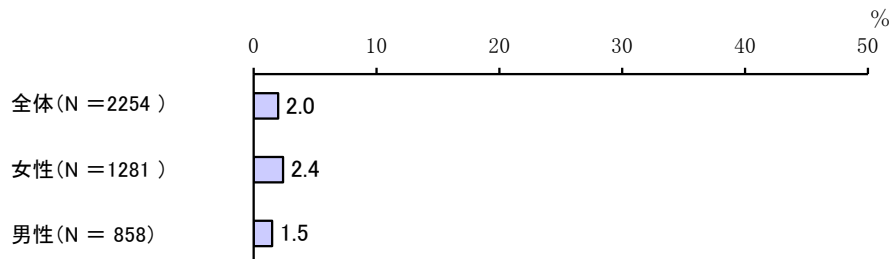


#### 職場で



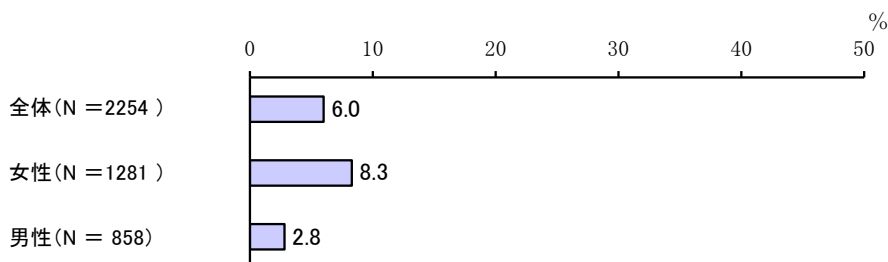
※ 最近3年の間に職場に在職した人数を把握していないため全体の割合で表示しています。

#### 学校で



※ 最近3年の間に学校に在籍した人数を把握していないため全体の割合で表示しています。

#### 地域で

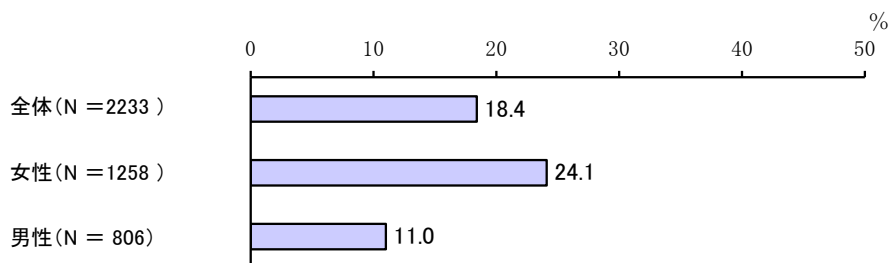


【性・年齢別】

単位：%

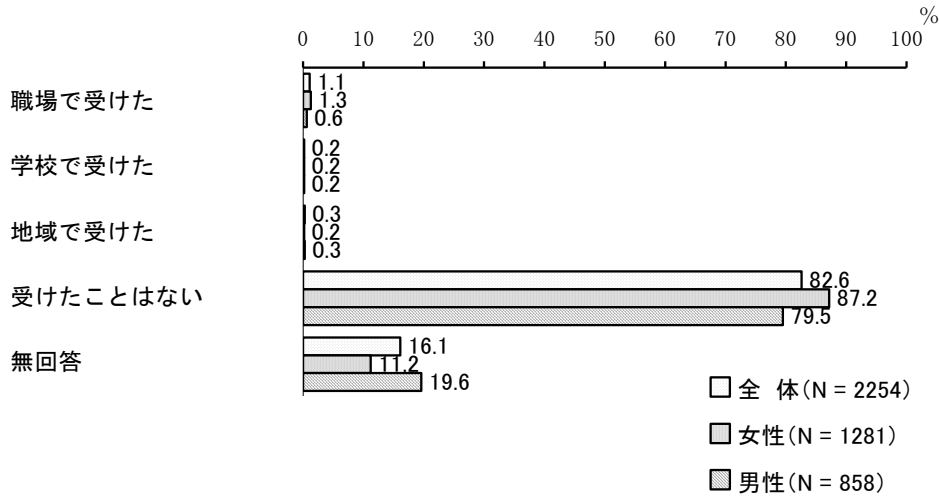
区分	有効回答数 (件)	全体	職場で	学校で	地域で
女性 全体	1281	23.0	18.0	2.4	8.3
20 歳代	107	39.3	29.0	12.1	10.3
30 歳代	176	35.8	30.1	2.3	11.9
40 歳代	227	32.2	27.8	3.5	8.8
50 歳代	210	22.4	18.1	1.4	8.6
60 歳代	302	16.2	10.9	0.7	8.6
70 歳以上	254	7.9	4.7	0.4	3.5
男性 全体	858	7.5	5.5	1.5	2.8
20 歳代	63	12.7	7.9	6.3	4.8
30 歳代	99	14.1	14.1	2.0	4.0
40 歳代	160	9.4	7.5	1.9	1.9
50 歳代	120	4.2	3.3	0.8	0.8
60 歳代	208	7.7	4.3	1.4	4.8
70 歳以上	208	2.9	1.4	-	1.4

【前回調査（平成 22 年）】



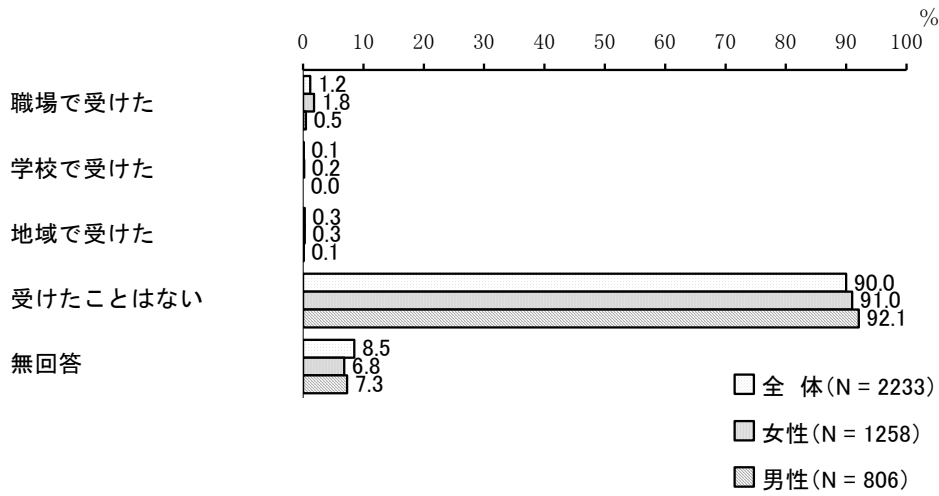
### (1) 地位や権限を利用して、性的な関係を迫られた

「受けたことはない」の割合が82.6%と最も高くなっています。  
性別で見ると、女性で男性に比べて「受けたことはない」の割合が高くなっています。  
前回調査と比較すると、「受けたことはない」で7.4ポイント低くなっています。



### 【前回調査（平成22年）】

### (1) 地位や権限を利用して、性的な関係を迫られた

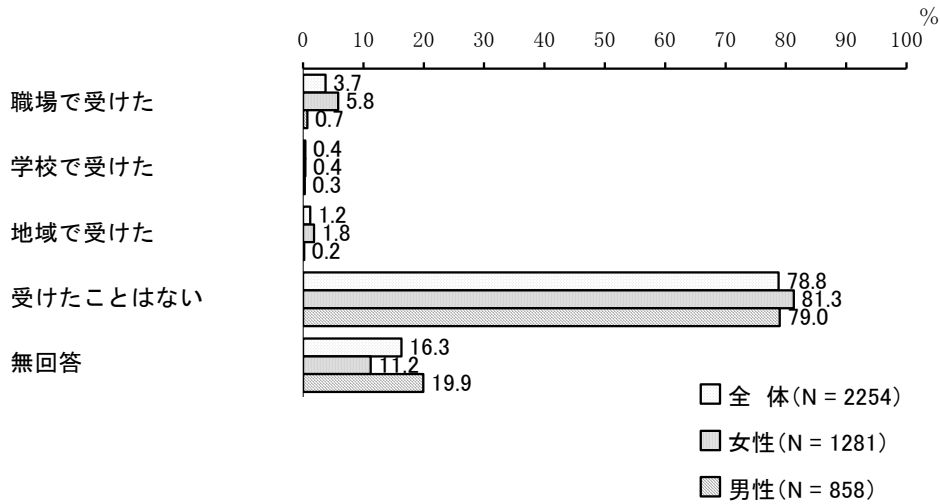


## (2) さわる、抱きつくなど肉体的接触を受けた

「受けたことはない」の割合が78.8%と最も高くなっています。

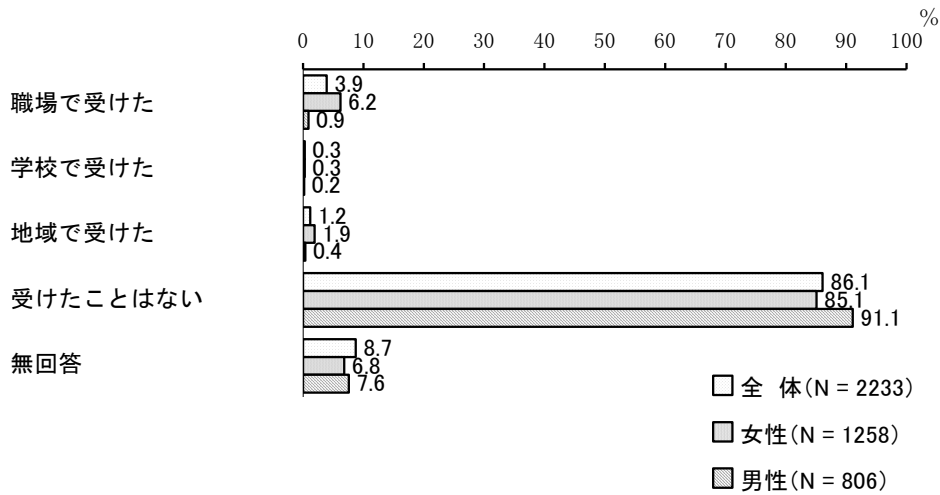
性別でみると、女性で「職場で受けた」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「受けたことはない」で7.3ポイント低くなっています。



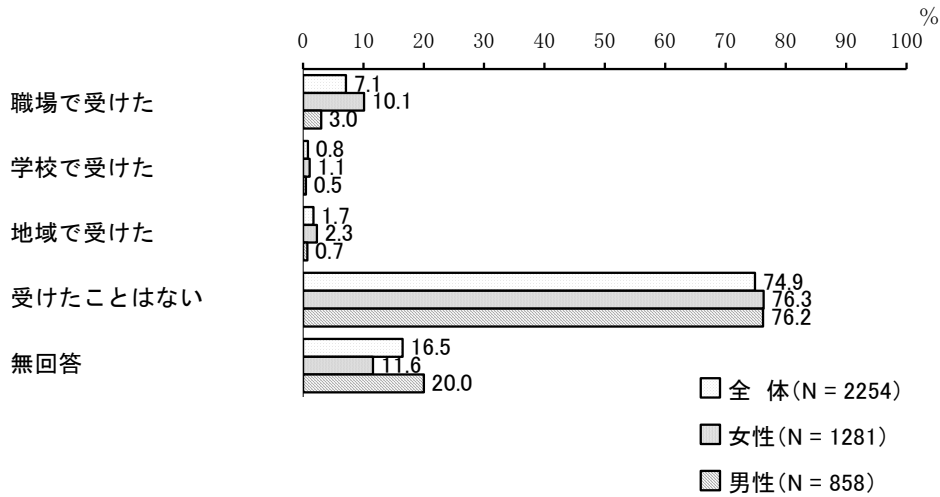
## 【前回調査 (平成 22 年)】

### (2) さわる、抱きつくなど肉体的接触を受けた



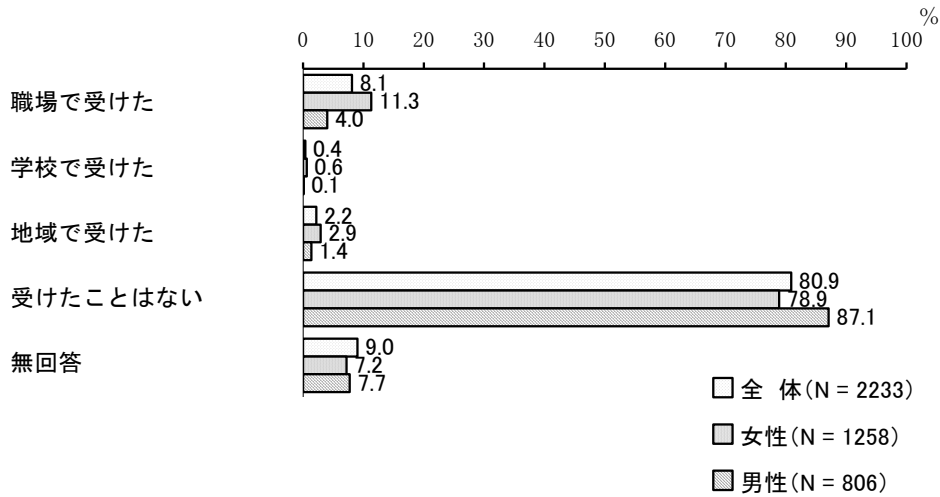
(3) 性的冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけられた

「受けたことはない」の割合が74.9%と最も高くなっています。  
 性別で見ると、女性で男性に比べ「職場で受けた」の割合が高くなっています。  
 前回調査と比較すると、「受けたことはない」で6.0ポイント低くなっています。



【前回調査（平成22年）】

(3) 性的冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけられた

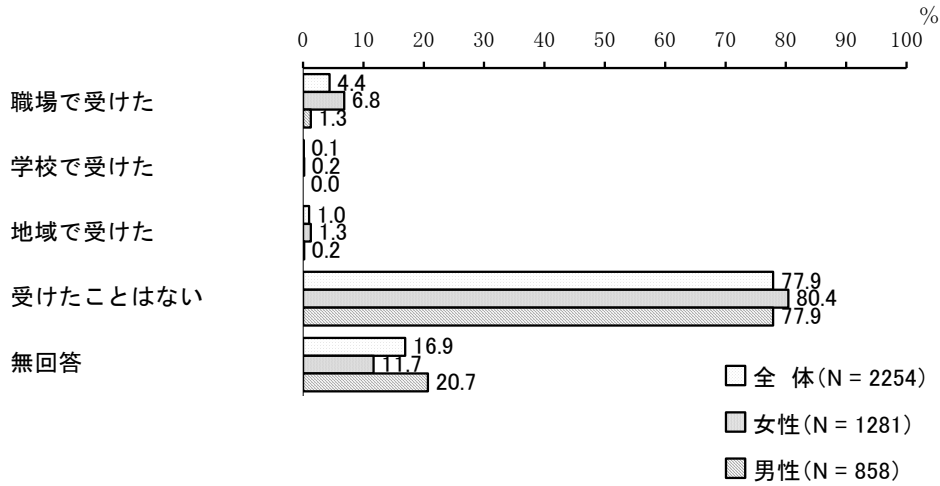


#### (4) 宴席で、お酌やデュエット、ダンスを強要された

「受けたことはない」の割合が77.9%と最も高くなっています。

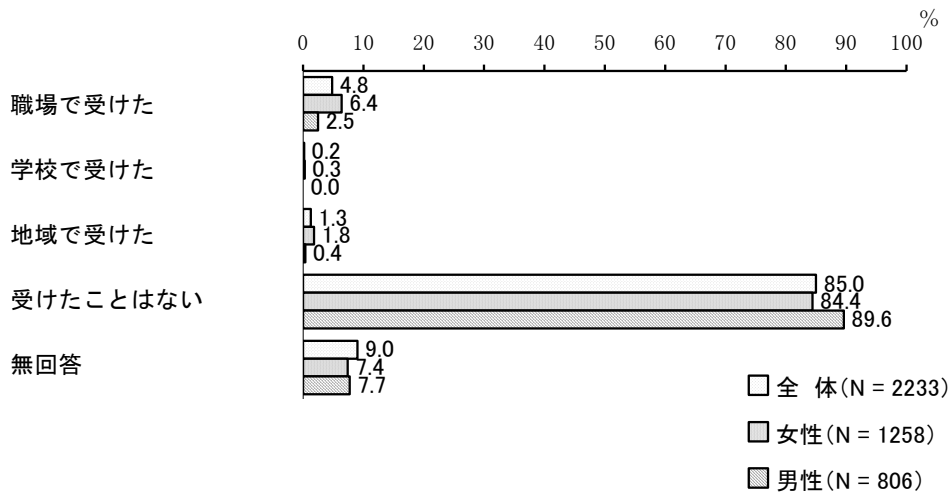
性別でみると、女性で「職場で受けた」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「受けたことはない」で7.1ポイント低くなっています。



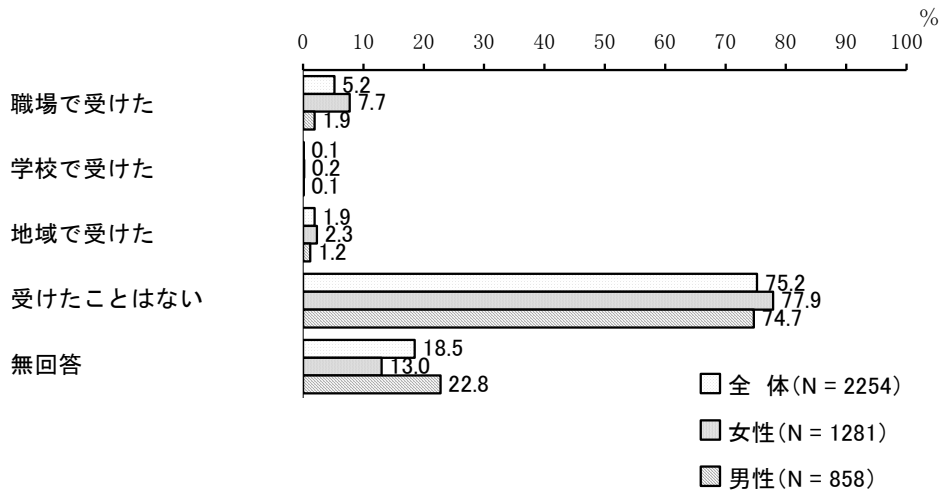
#### 【前回調査（平成22年）】

#### (4) 宴席で、お酌やデュエット、ダンスを強要された



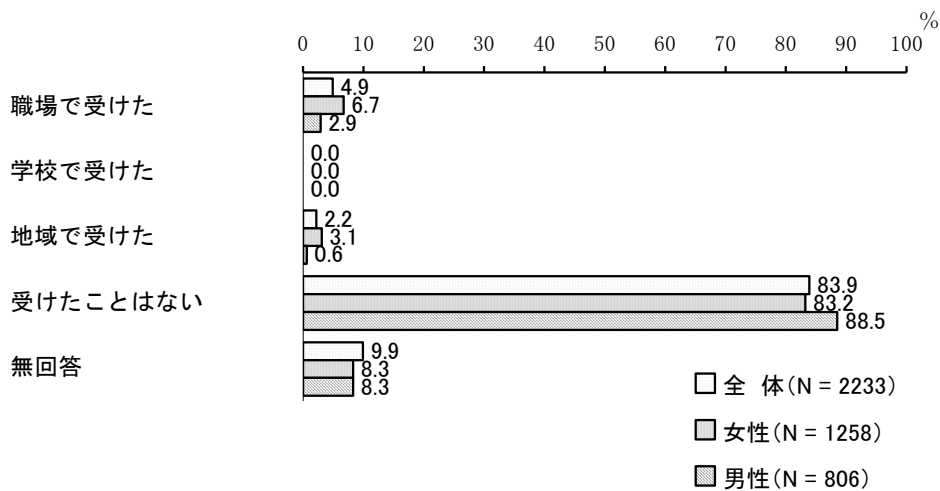
(5) 結婚予定や出産予定をたびたび聞かれた

「受けたことはない」の割合が75.2%と最も高くなっています。  
性別で見ると、女性で「職場で受けた」の割合が高くなっています。  
前回調査と比較すると、「受けたことはない」で8.7ポイント低くなっています。



【前回調査（平成22年）】

(5) 結婚予定や出産予定をたびたび聞かれた

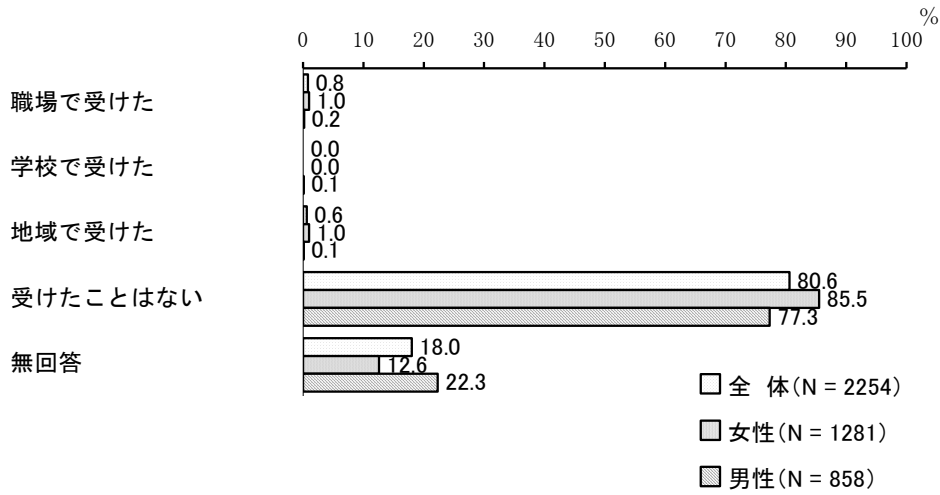


(6) 目につきやすい所に、ヌードの写真やカレンダーなどが置いてあった

「受けたことはない」の割合が80.6%と最も高くなっています。

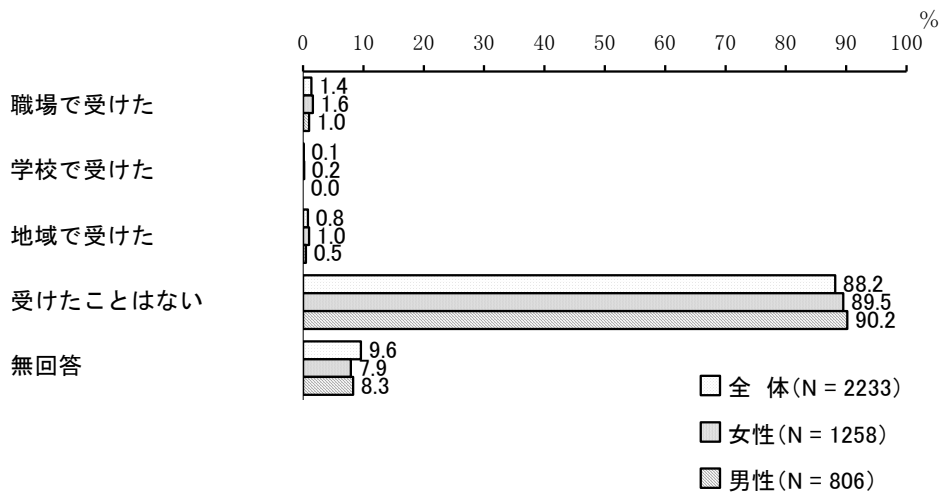
性別で見ると、女性で「受けたことはない」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「受けたことはない」で7.6ポイント低くなっています。



【前回調査（平成 22 年）】

(6) 目につきやすい所に、ヌードの写真やカレンダーなどが置いてあった



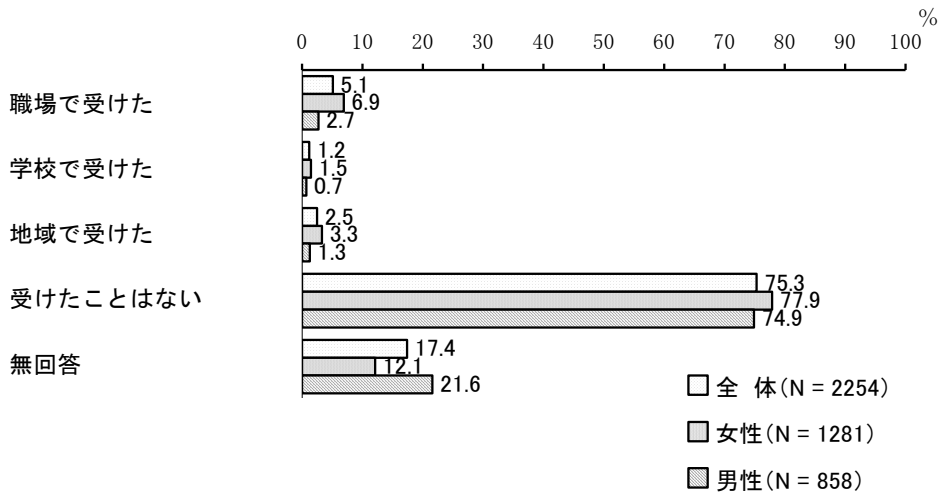


(7) じろじろ見られたり、容姿のことを話題にされた

「受けたことはない」の割合が75.3%と最も高くなっています。

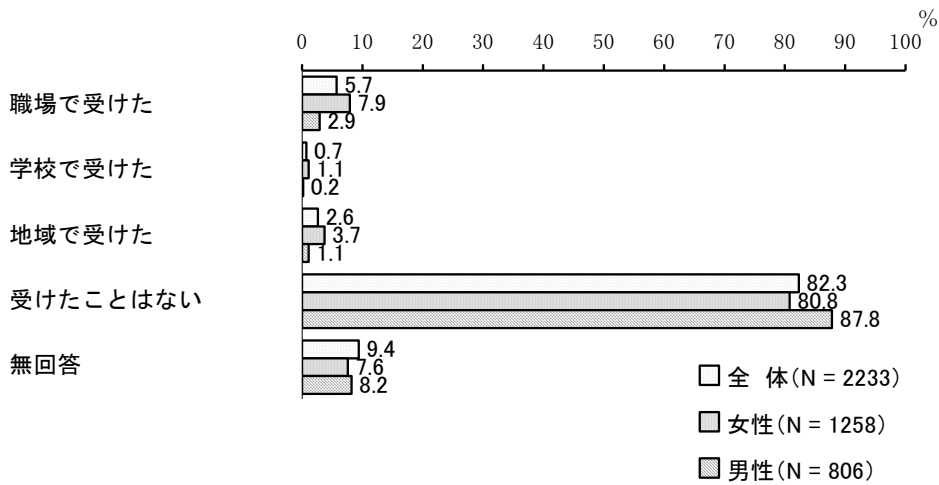
性別でみると、女性で「職場で受けた」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「受けたことはない」で7.0ポイント低くなっています。



【前回調査（平成 22 年）】

(7) じろじろ見られたり、容姿のことを話題にされた

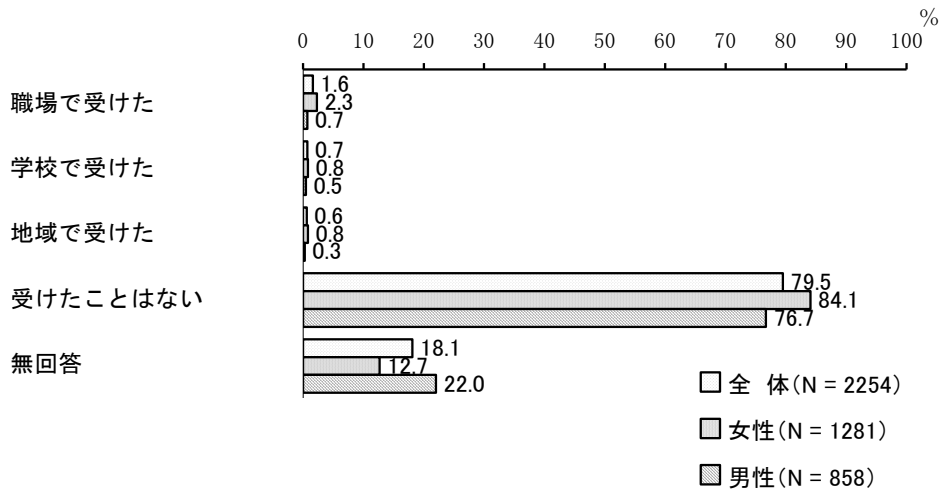


(8) 性的な噂を立てられたり、性的なからかいの対象とされた

「受けたことはない」の割合が79.5%と最も高くなっています。

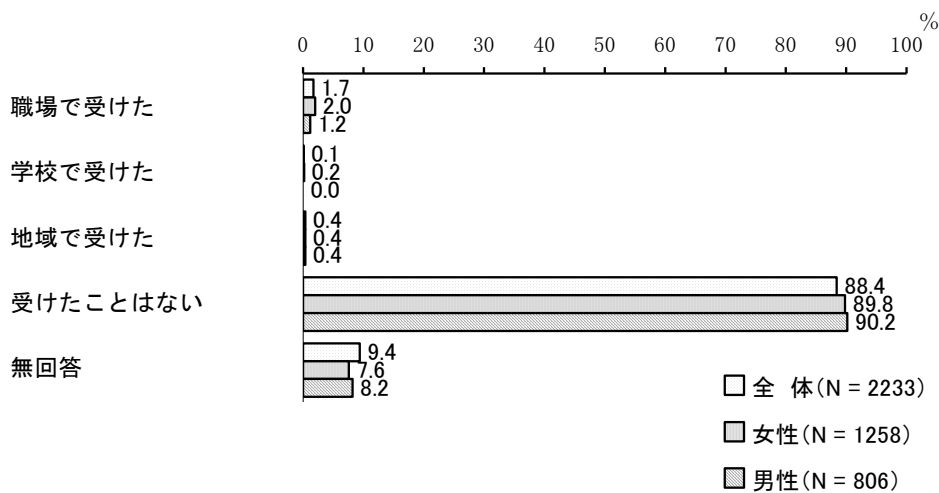
性別で見ると、女性で「受けたことはない」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「受けたことはない」で8.9ポイント低くなっています。

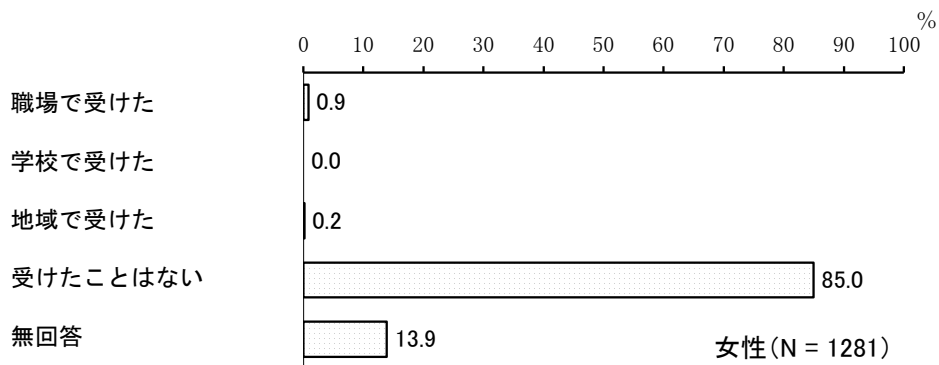


【前回調査（平成22年）】

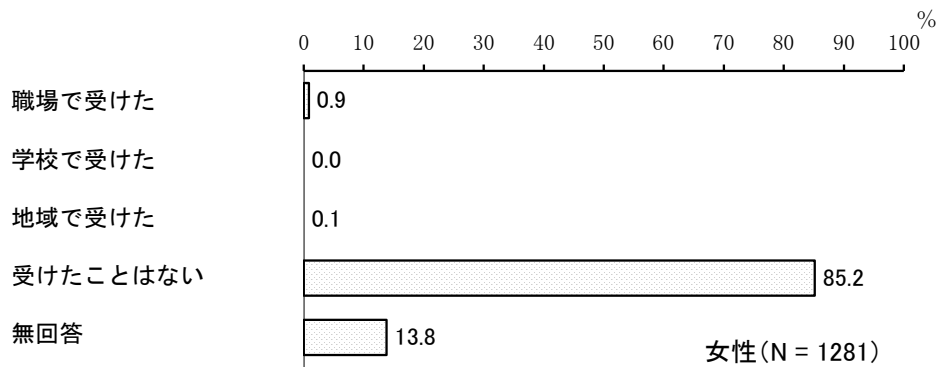
(8) 性的な噂を立てられたり、性的なからかいの対象とされた



(9) 妊娠・出産をきっかけに、精神的・肉体的な嫌がらせを受けた  
「受けたことはない」の割合が高くなっています。



(10) 妊娠・出産を理由に解雇や雇い止め、自主退職の強要を受けた  
「受けたことはない」の割合が高くなっています。



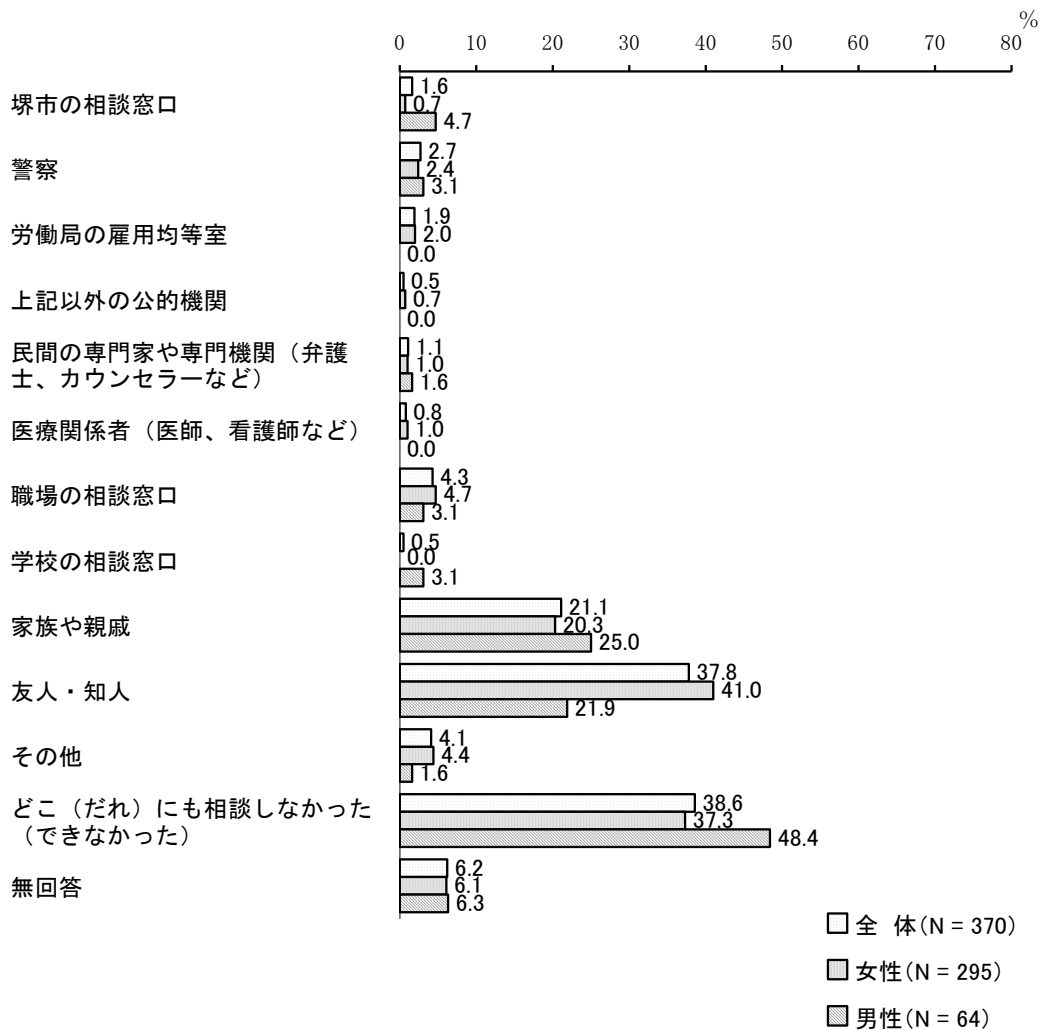
問 34 で一つでも 1～3 と回答した方にうかがいます。

**問 35 あなたは、そのことを誰かに相談しましたか。(〇はいくつでも)**

「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 37.8%、「家族や親戚」の割合が 21.1%となっています。

性別でみると、女性で「友人・知人」の割合が高くなっています。

男性で「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」の割合が高くなっています。



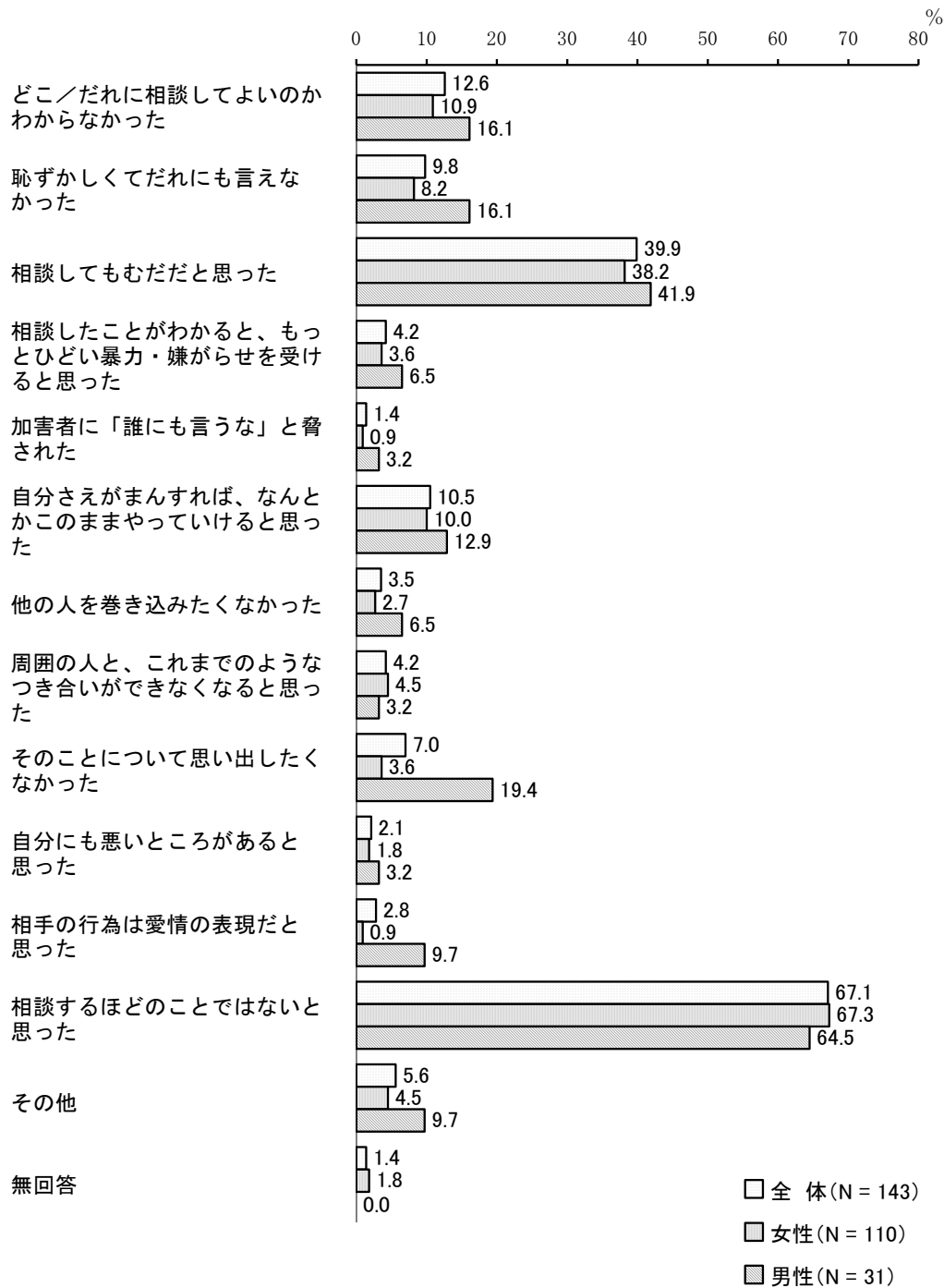
問 35 で、12 と回答した方にうかがいます。

※それ以外の方は問 37 へ

問 36 あなたが、どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。

「相談するほどのことではないと思った」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「相談してもむだだと思った」の割合が 39.9%、「どこ／だれに相談してよいのかわからなかった」の割合が 12.6%となっています。

性別でみると、男性で女性に比べて「そのことについて思い出したくなかった」の割合が高くなっています。

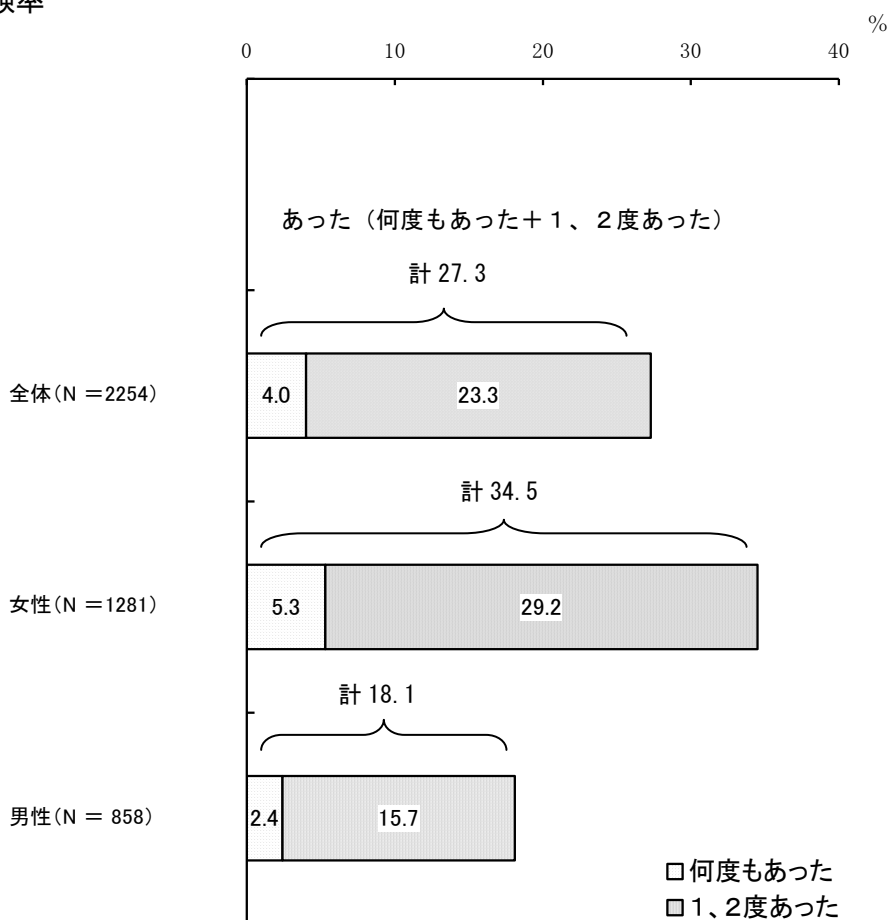


再び、全員の方にうかがいます。

問 37 あなたは、これまでに配偶者・パートナーや交際相手から、次の行為を受けたことがありますか。(それぞれ○は一つ)

「何度もあった」と「1、2度あった」をあわせた“あった”の割合が27.3%となっています。  
性・年齢別で見ると、女性の40歳代、50歳代で「何度もあった」と「1、2度あった」をあわせた“あった”の割合が高くなっています。  
前回調査と比べると、“あった”の割合が男性で8.2ポイント高くなっています。

### DVの被害経験率

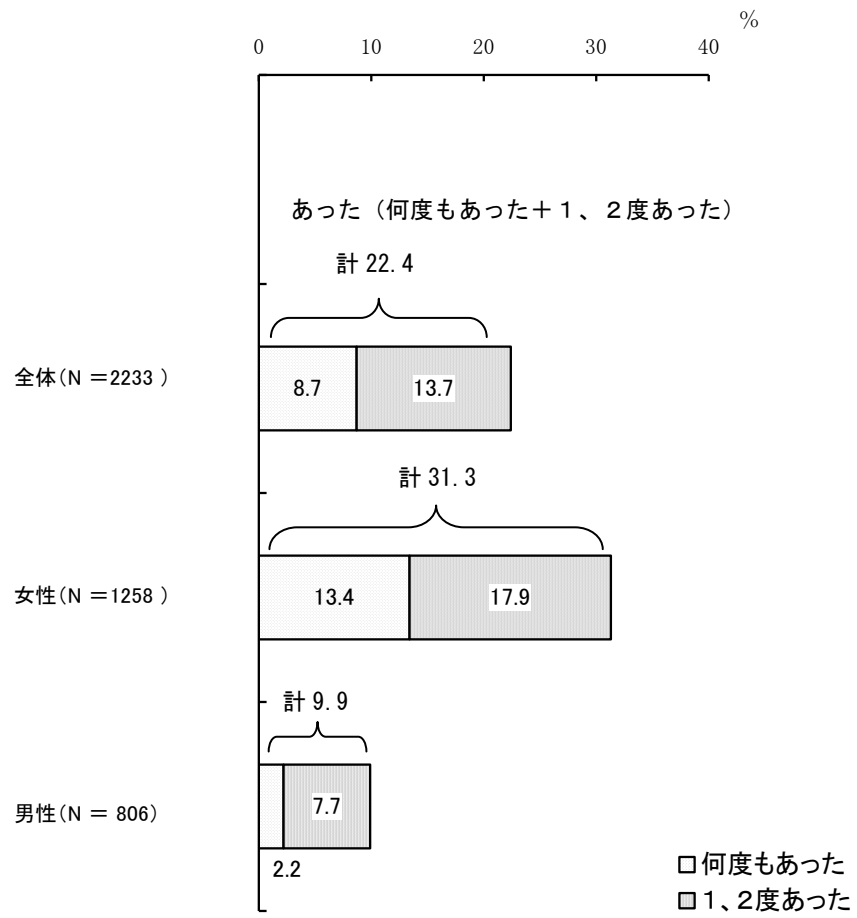


【性・年齢別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	何度もあった	1、 2度あった	あった計 (何度もあった +1、2度あった)
女性 全体	1281	5.3	29.2	34.5
20 歳代	107	5.6	21.5	27.1
30 歳代	176	2.3	30.7	33.0
40 歳代	227	8.4	35.2	43.6
50 歳代	210	5.2	34.8	40.0
60 歳代	302	5.3	33.4	38.7
70 歳以上	254	4.7	16.9	21.6
男性 全体	858	2.4	15.7	18.1
20 歳代	63	0.0	14.3	14.3
30 歳代	99	5.1	22.2	27.3
40 歳代	160	4.4	18.8	23.2
50 歳代	120	1.7	15.0	16.7
60 歳代	208	1.4	16.3	17.7
70 歳以上	208	1.9	10.6	12.5

【前回調査（平成 22 年）】





## 配偶者・パートナー

「何度もあった」と「1、2度あった」をあわせた“あった”の割合が24.2%となっています。

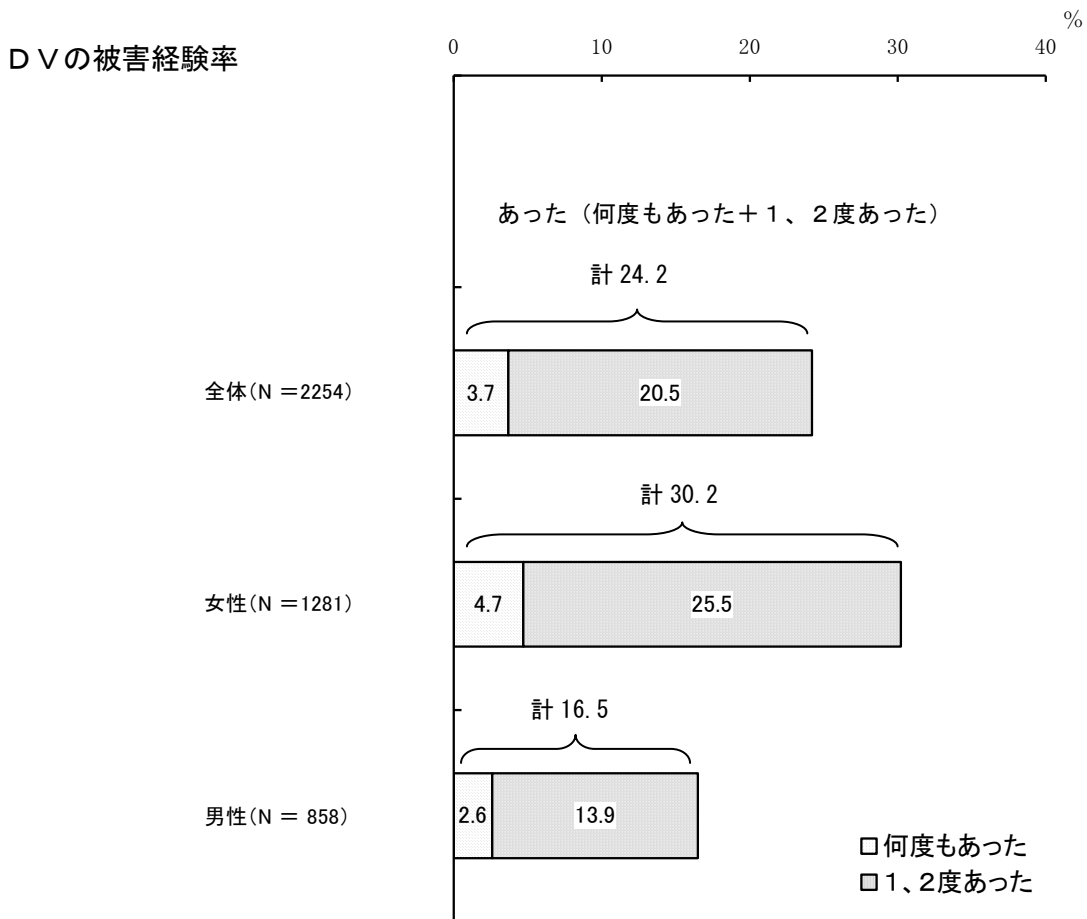
性・年齢別で見ると、女性の40歳代、50歳代、60歳代で「何度もあった」「1、2度あった」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、男性で「何度もあった」と「1、2度あった」をあわせた“あった”の割合が9.1ポイント高くなっています。

「何度もあった」と「1、2度あった」をあわせた“あった”の割合が『(3) 人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、なぐるふりをして脅す、長時間無視するなどの精神的な嫌がらせ』で16.5%と最も高く、次いで『(1) なぐる、ける、物を投げつけるなどの身体に対する暴行』で13.7%、『(6) 子どもの前で暴力をふるったり、子どもに暴力をふるう』で7.3%となっています。

女性では、「何度もあった」と「1、2度あった」をあわせた“あった”の割合が『(3) 人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、なぐるふりをして脅す、長時間無視するなどの精神的な嫌がらせ』で21.1%と最も高く、次いで『(1) なぐる、ける、物を投げつけるなどの身体に対する暴行』で17.5%、『(4) 嫌がっているのに性的なことを強要したり、避妊をしない』で10.2%となっています。

男性では、「何度もあった」と「1、2度あった」をあわせた“あった”の割合が『(3) 人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、なぐるふりをして脅す、長時間無視するなどの精神的な嫌がらせ』で10.1%と最も高く、次いで『(1) なぐる、ける、物を投げつけるなどの身体に対する暴行』で8.4%、『(5) 携帯電話の番号やメールを勝手にチェックしたり、外出や行動を制限・監視したり、家族や知人に会わせない』で5.3%となっています。

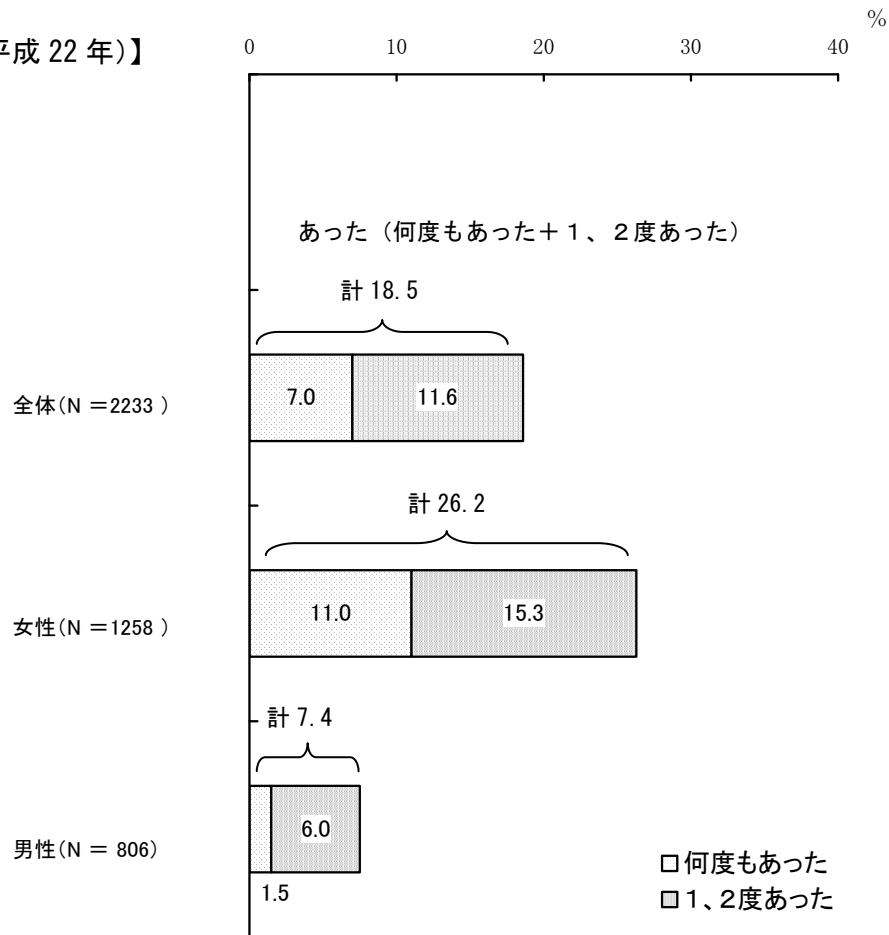


【性・年齢別】

単位：%

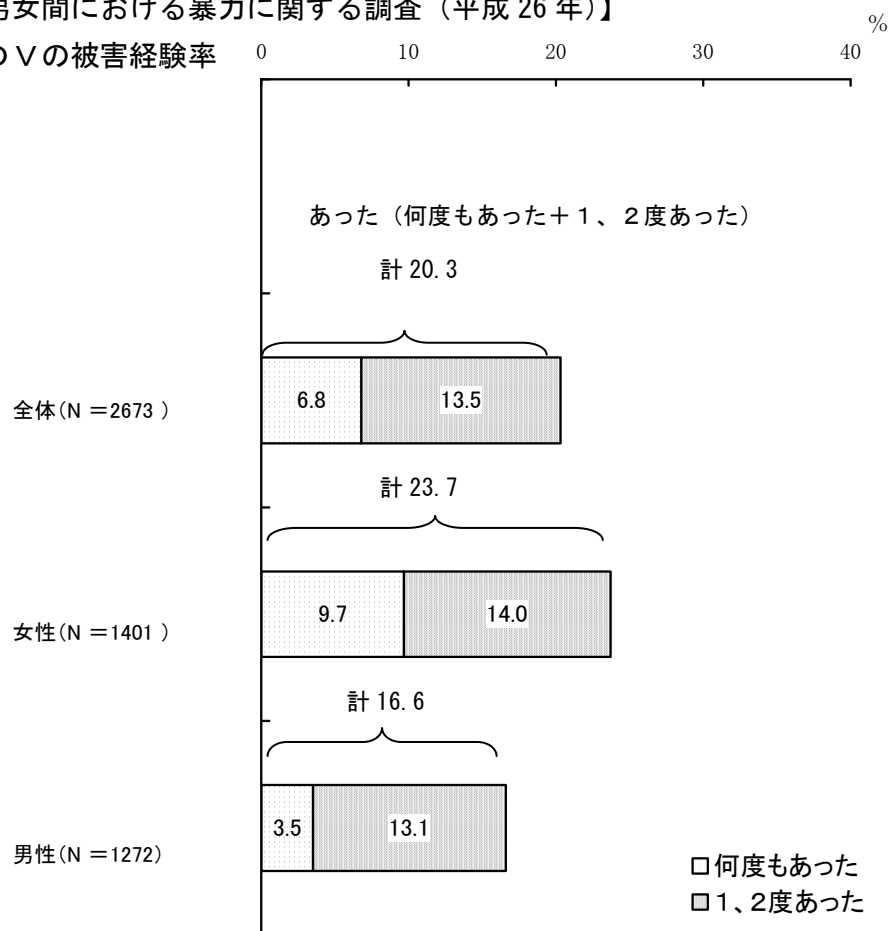
区分	有効回答数 (件)	何度もあった (%)	1、2度あった (%)	あった計 (何度もあった + 1、2度あった) (%)
女性 全体	1281	4.7	25.5	30.2
20 歳代	107	4.7	6.5	11.2
30 歳代	176	1.7	20.5	22.2
40 歳代	227	6.2	32.2	38.4
50 歳代	210	5.7	32.9	38.6
60 歳代	302	5.3	33.1	38.4
70 歳以上	254	3.9	16.5	20.4
男性 全体	858	2.6	13.9	16.5
20 歳代	63	1.6	7.9	9.5
30 歳代	99	4.0	20.2	24.2
40 歳代	160	4.4	16.3	20.7
50 歳代	120	1.7	15.0	16.7
60 歳代	208	1.9	13.5	15.4
70 歳以上	208	1.9	10.6	12.5

【前回調査（平成 22 年）】



【全国調査「男女間における暴力に関する調査（平成 26 年）】

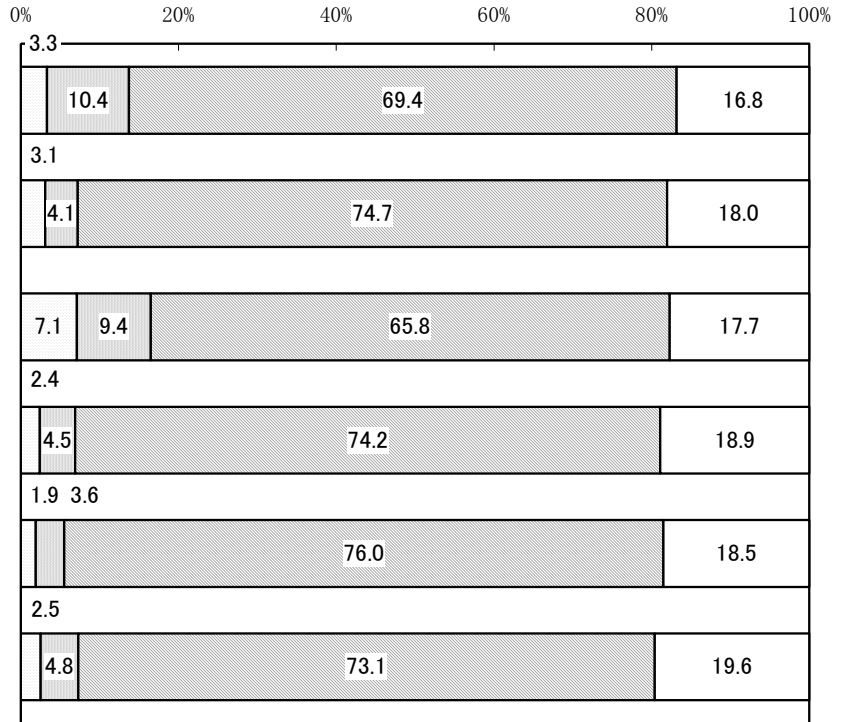
配偶者からのDVの被害経験率



□ 何度もあった □ 1、2度あった □ まったくない □ 無回答

N = 2254

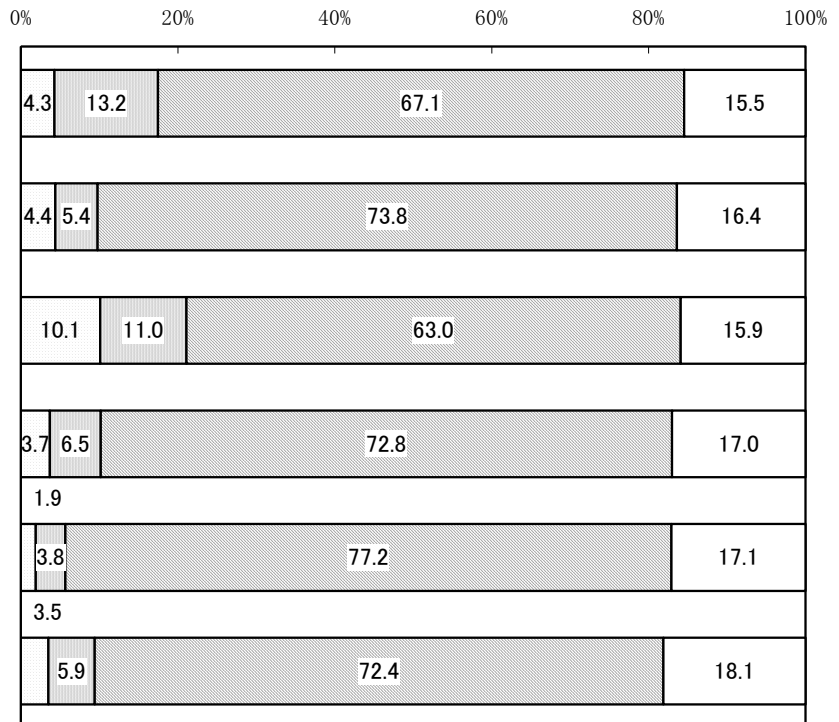
(1) ながる、ける、物を投げつけるなどの身体に対する暴行



## 【女性】

N = 1281

(1) ながる、ける、物を投げつけるなどの身体に対する暴行

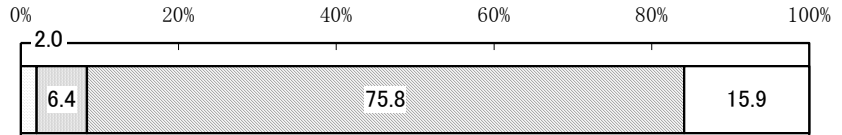


【男性】

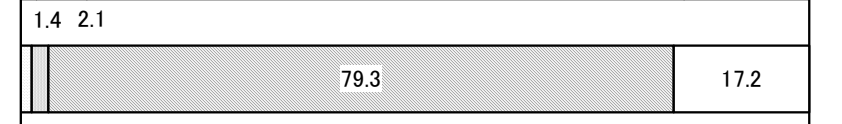
□ 何度もあった □ 1、2度あった □ まったくない □ 無回答

N = 858

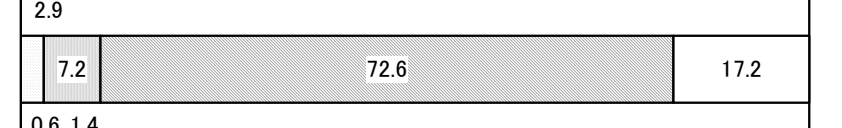
(1) ながる、ける、物を投げつけるなどの身体に対する暴行



(2) 生活費を渡さない、借金を肩代わりさせる、金品を要求するなど経済的に困らせる



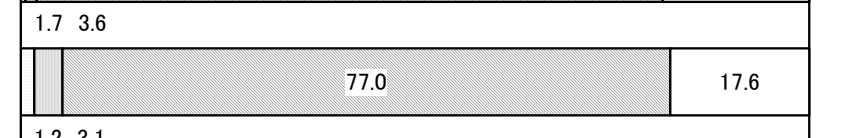
(3) 人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、ながるふりをして脅す、長時間無視するなどの精神的な嫌がらせ



(4) 嫌がっているのに性的なことを強要したり、避妊をしない



(5) 携帯電話の番号やメールを勝手にチェックしたり、外出や行動を制限・監視したり、家族や知人に会わせない



(6) 子どもの前で暴力をふるったり、子どもに暴力をふるう



【前回調査（平成 22 年）】

配偶者・パートナー

【女性】

□ 何度もあった □ 1、2度あった □ まったくない □ 無回答

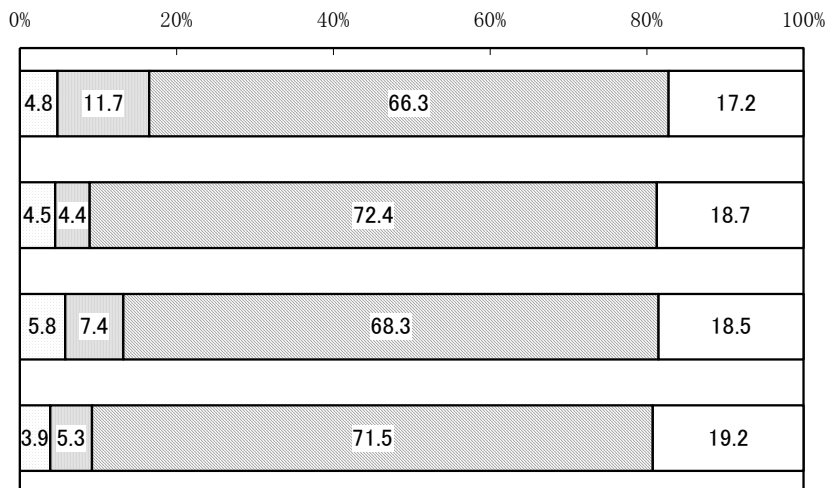
N = 1258

(1) ながる、ける、物を投げつけ  
るなどの身体に対する暴行

(2) 生活費を渡さない、借金を肩  
代わりさせる、金品を要求するなど  
経済的に困らせる

(3) 人格を否定するようなことを  
言う、大声でどなる、ながるふりを  
して脅す、長時間無視するなどの精  
神的な嫌がらせ

(4) 嫌がっているのに性的なこ  
とを強要したり、避妊をしない



【男性】

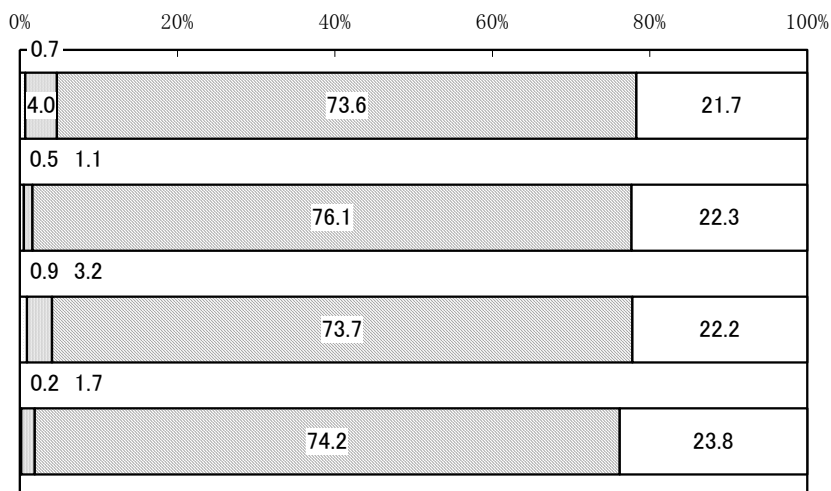
N = 806

(1) ながる、ける、物を投げつけ  
るなどの身体に対する暴行

(2) 生活費を渡さない、借金を肩  
代わりさせる、金品を要求するなど  
経済的に困らせる

(3) 人格を否定するようなことを  
言う、大声でどなる、ながるふりを  
して脅す、長時間無視するなどの精  
神的な嫌がらせ

(4) 嫌がっているのに性的なこ  
とを強要したり、避妊をしない

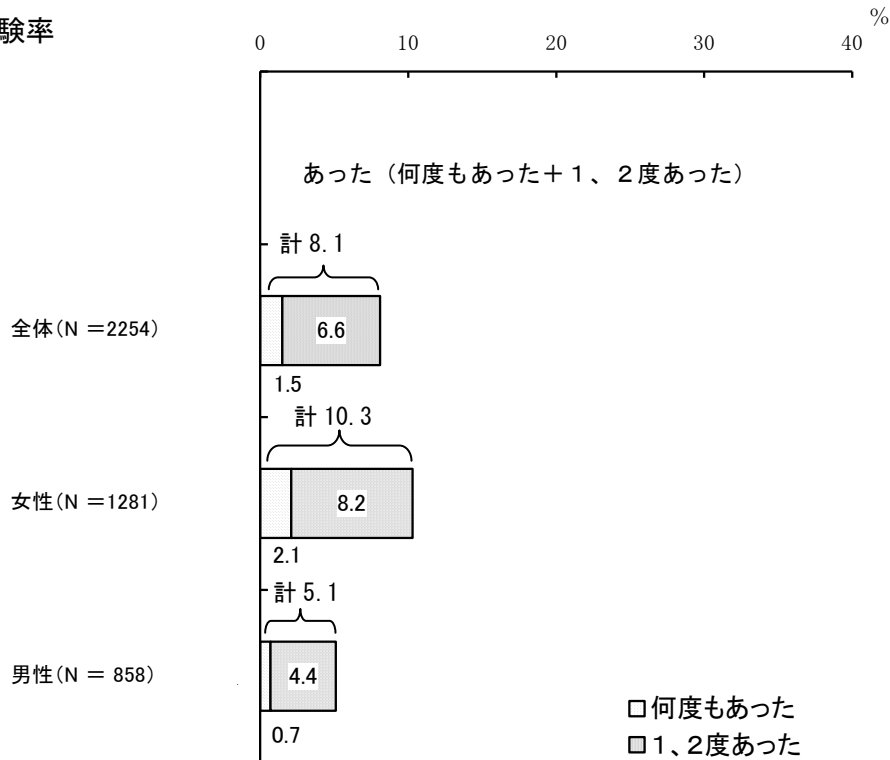


## 交際相手

「何度もあった」と「1、2度あった」をあわせた“あった”の割合が8.1%となっています。  
 性・年齢別で見ると、女性の20歳代から40歳代で“あった”の割合が高くなっています。

「何度もあった」と「1、2度あった」をあわせた“あった”の割合が『(3) 人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、なぐるふりをして脅す、長時間無視するなどの精神的な嫌がらせ』で4.3%と最も高く、次いで『(1) なぐる、ける、物を投げつけるなどの身体に対する暴行』で3.4%、『(5) 携帯電話の番号やメールを勝手にチェックしたり、外出や行動を制限・監視したり、家族や知人に会わせない』で3.2%となっています。

## DVの被害経験率

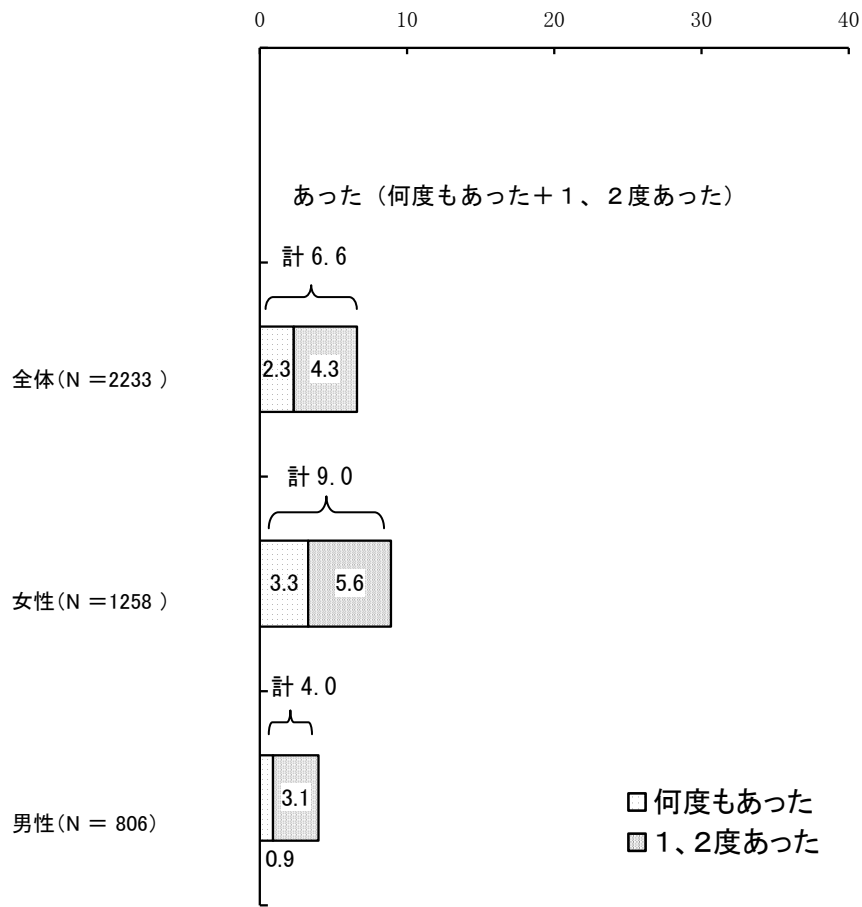


## 【性・年齢別】

単位：%

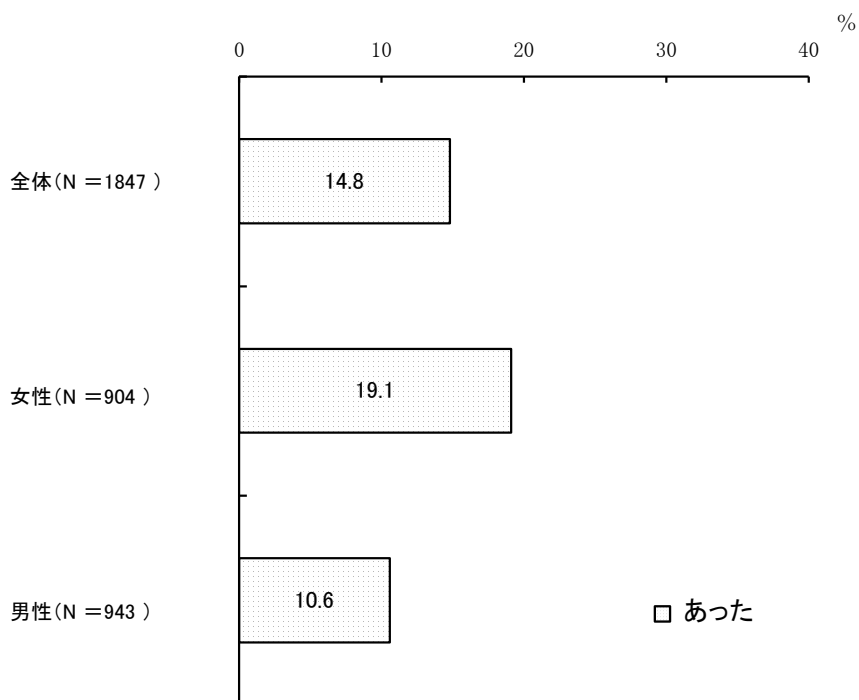
区分	有効回答数 (件)	何どもあった (%)	1、2度あった (%)	1、2度あった + あった (何どもあった) 計 (%)
女性 全体	1281	2.1	8.2	10.3
20歳代	107	4.7	18.7	23.4
30歳代	176	6.3	18.2	24.5
40歳代	227	3.5	14.1	17.6
50歳代	210	0.5	6.2	6.7
60歳代	302	0.0	2.0	2.0
70歳以上	254	0.8	0.8	1.6
男性 全体	858	0.7	4.4	5.1
20歳代	63	1.6	7.9	9.5
30歳代	99	4.0	7.1	11.1
40歳代	160	0.6	5.0	5.6
50歳代	120	0.0	5.0	5.0
60歳代	208	0.0	4.8	4.8
70歳以上	208	0.0	1.0	1.0

【前回調査（平成 22 年）】



【全国調査「男女間における暴力に関する調査（平成 26 年）】

交際相手からのDVの被害経験率

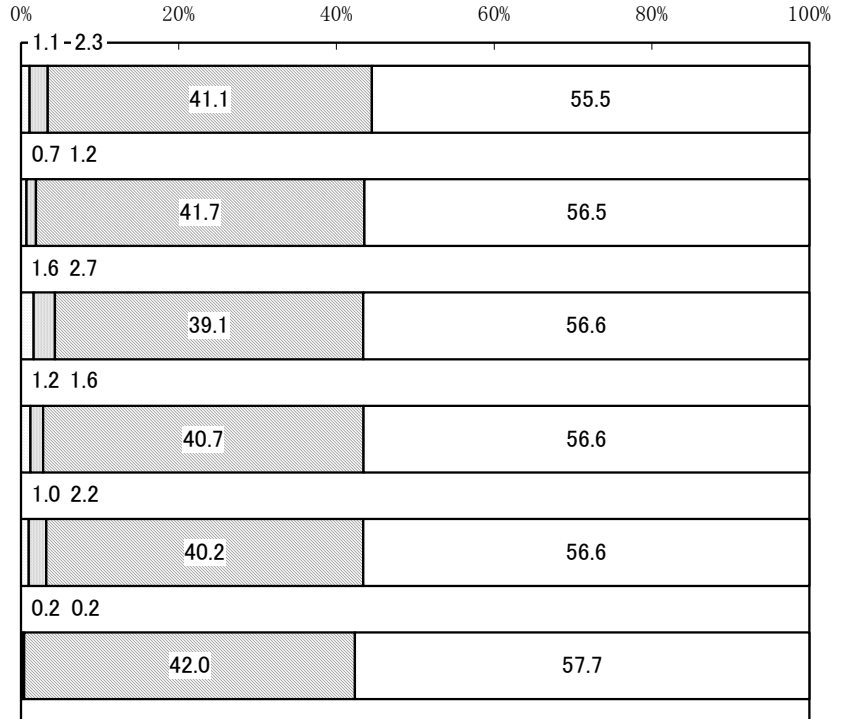




□ 何度もあった □ 1、2度あった □ まったくない □ 無回答

N = 2254

(1) ながる、ける、物を投げつけるなどの身体に対する暴行



(2) 生活費を渡さない、借金を肩代わりさせる、金品を要求するなど経済的に困らせる

(3) 人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、ながるふりをして脅す、長時間無視するなどの精神的な嫌がらせ

(4) 嫌がっているのに性的なことを強要したり、避妊をしない

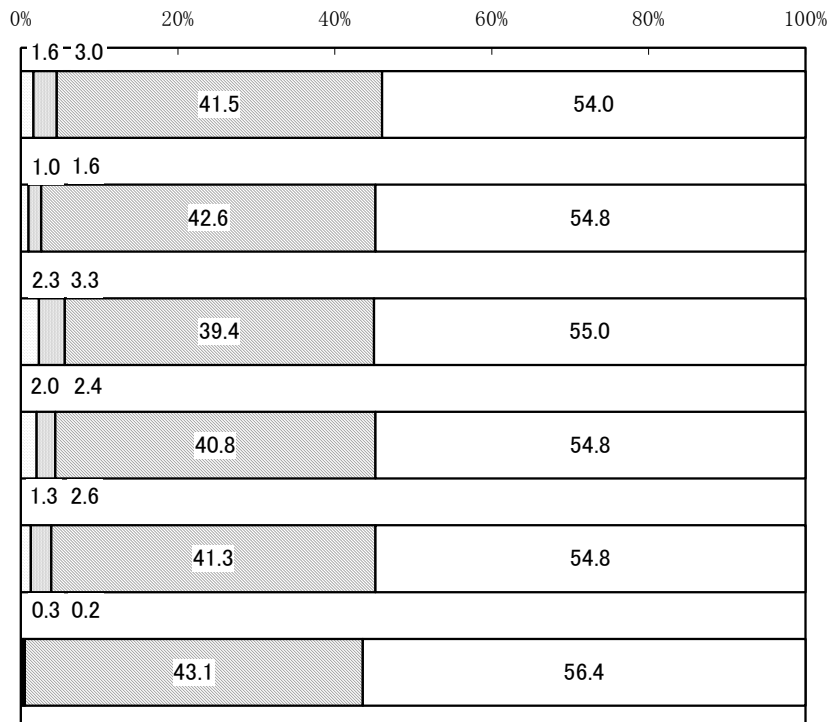
(5) 携帯電話の番号やメールを勝手にチェックしたり、外出や行動を制限・監視したり、家族や知人に会わせない

(6) 子どもの前で暴力をふるったり、子どもに暴力をふるう

## 【女性】

N = 1281

(1) ながる、ける、物を投げつけるなどの身体に対する暴行



(2) 生活費を渡さない、借金を肩代わりさせる、金品を要求するなど経済的に困らせる

(3) 人格を否定するようなことを言う、大声でどなる、ながるふりをして脅す、長時間無視するなどの精神的な嫌がらせ

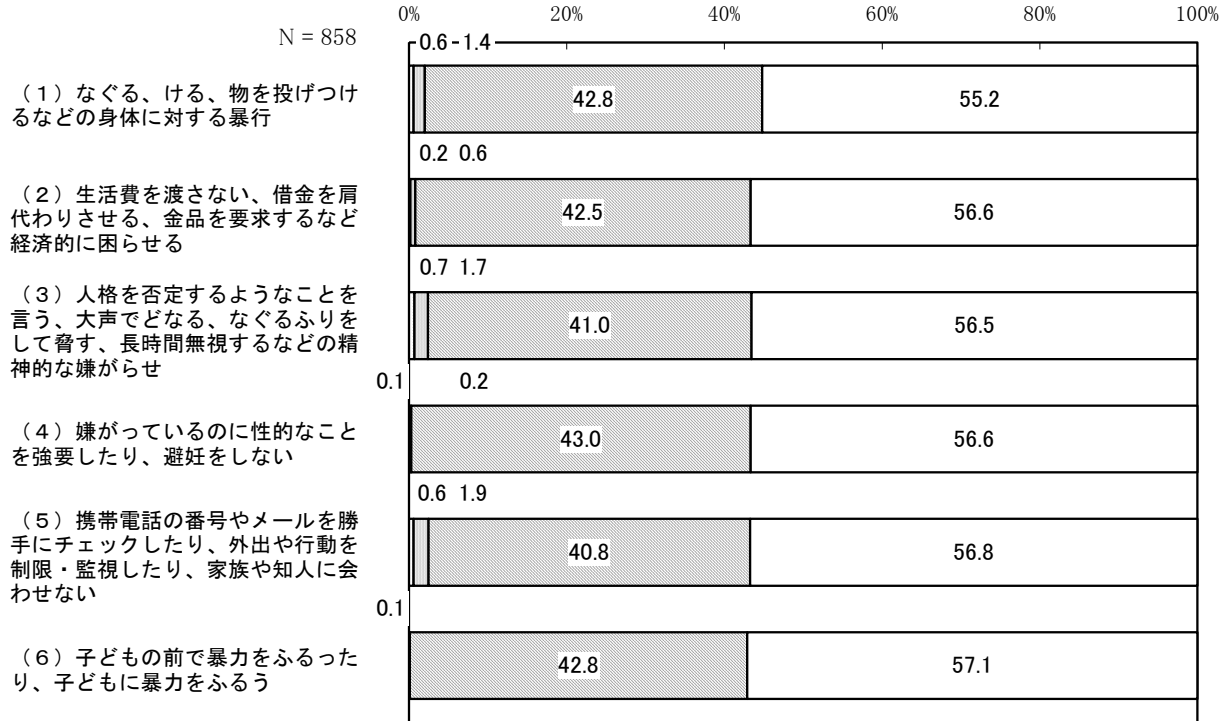
(4) 嫌がっているのに性的なことを強要したり、避妊をしない

(5) 携帯電話の番号やメールを勝手にチェックしたり、外出や行動を制限・監視したり、家族や知人に会わせない

(6) 子どもの前で暴力をふるったり、子どもに暴力をふるう

【男性】

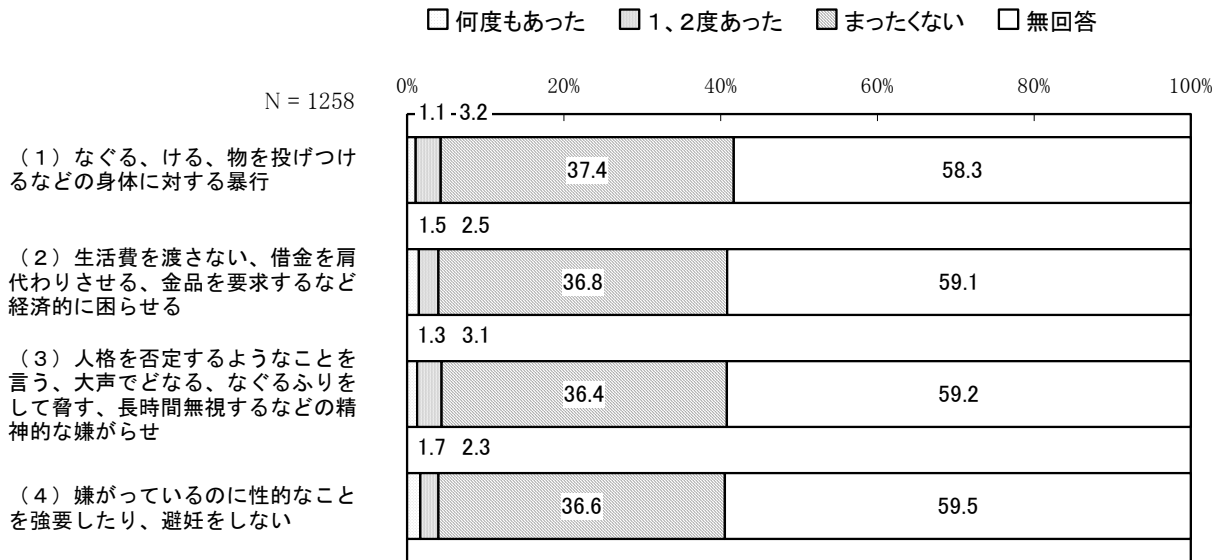
□ 何度もあった □ 1、2度あった □ まったくない □ 無回答



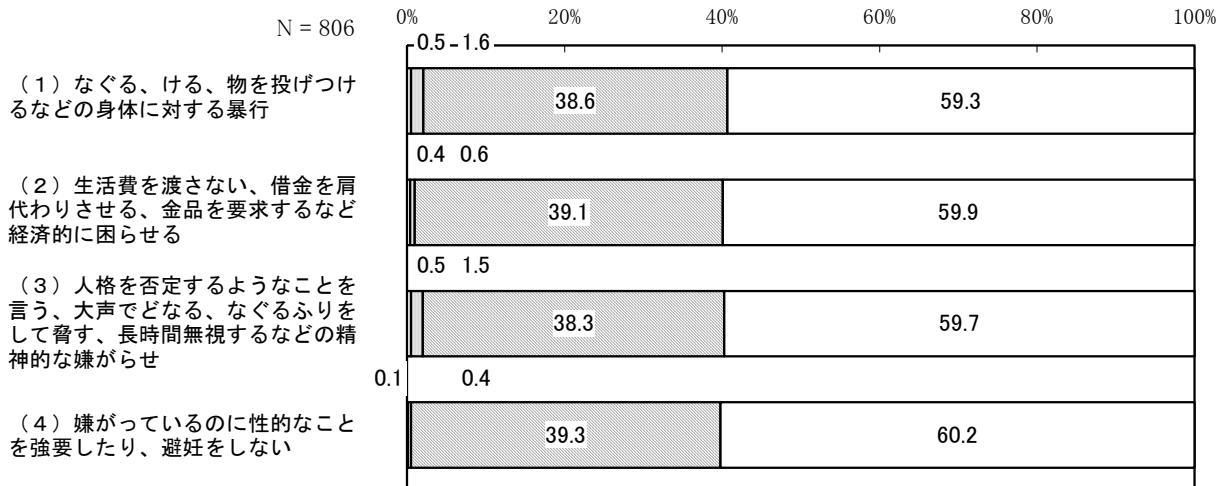
【前回調査（平成 22 年）】

交際相手

【女性】



【男性】



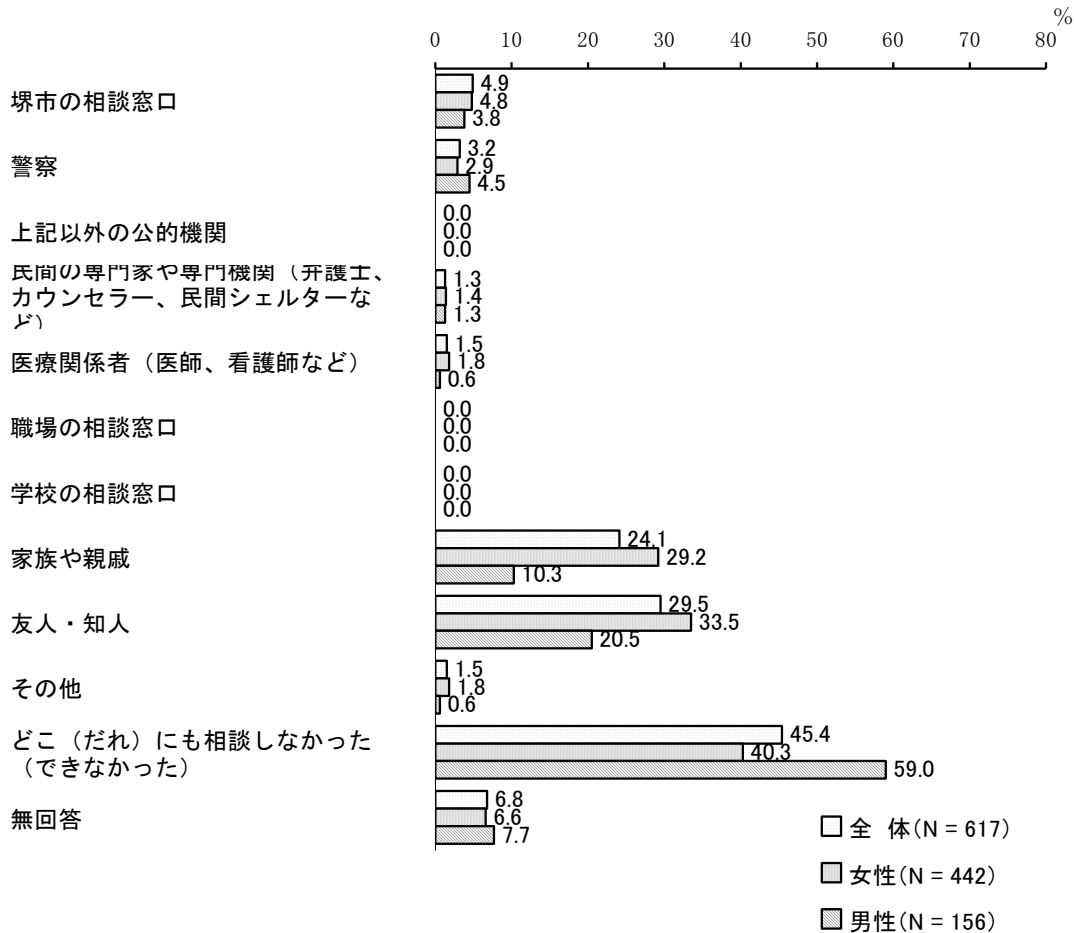
問 37 で一つでも 1・2 と答えた方にうかがいます。

※それ以外の方は問 40 へ

**問 38 あなたは、そのことを誰かに相談しましたか。(〇はいくつでも)**

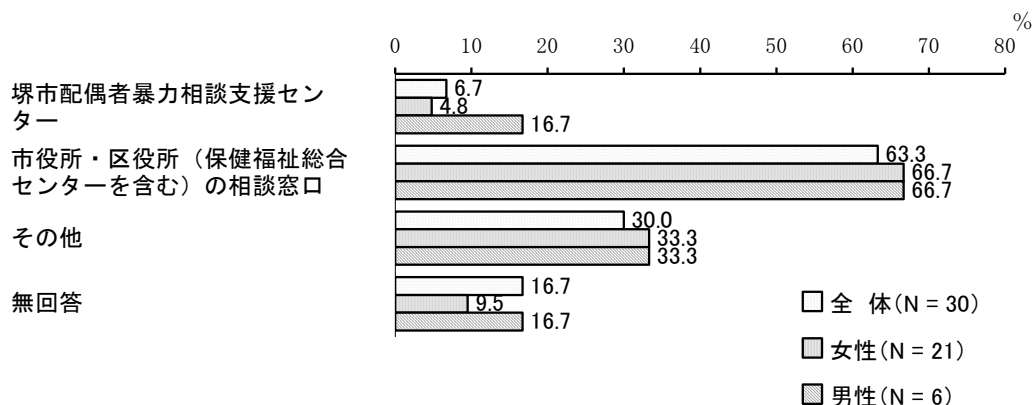
「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」の割合が 45.4%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 29.5%、「家族や親戚」の割合が 24.1%となっています。

性別でみると、女性で「家族や親戚」「友人・知人」の割合が高くなっています。男性で「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」の割合が高くなっています。



**1. 堺市の相談窓口 (次の 1-1 から 1-3 で該当するものに〇)**

「市役所・区役所 (保健福祉総合センターを含む) の相談窓口」の割合が 63.3%、「堺市配偶者暴力相談支援センター」の割合が 6.7%となっています。

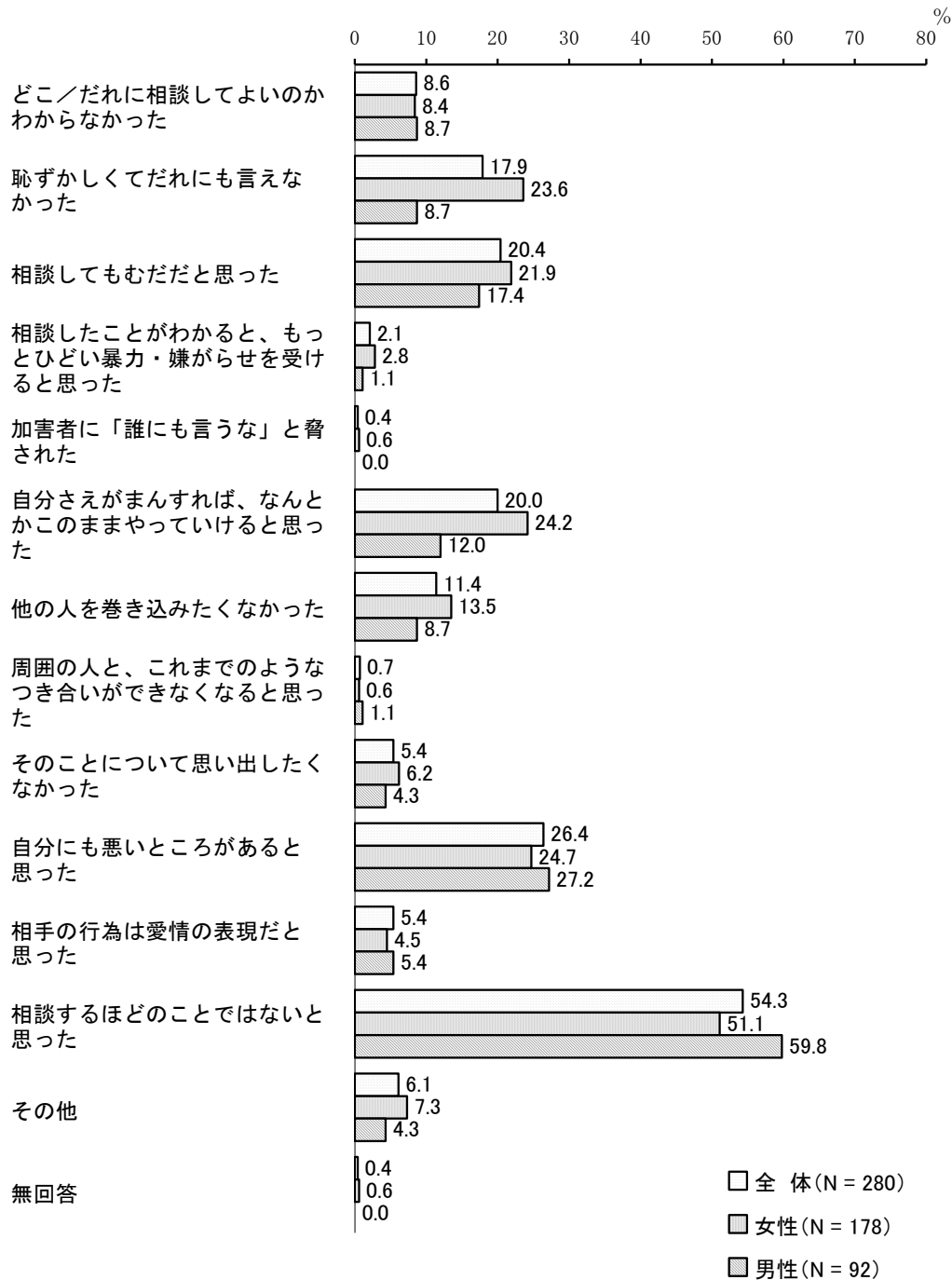


問 38 で、11 と回答した方にうかがいます。

**問 39 あなたが、どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。**

「相談するほどのことではないと思った」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「自分にも悪いところがあると思った」の割合が 26.4%、「相談してもむだだと思った」の割合が 20.4%となっています。

性別でみると、女性で男性に比べて「恥ずかしくてだれにも言えなかった」の割合が高くなっています。男性で女性に比べて「相談するほどのことではないと思った」の割合が高くなっています。

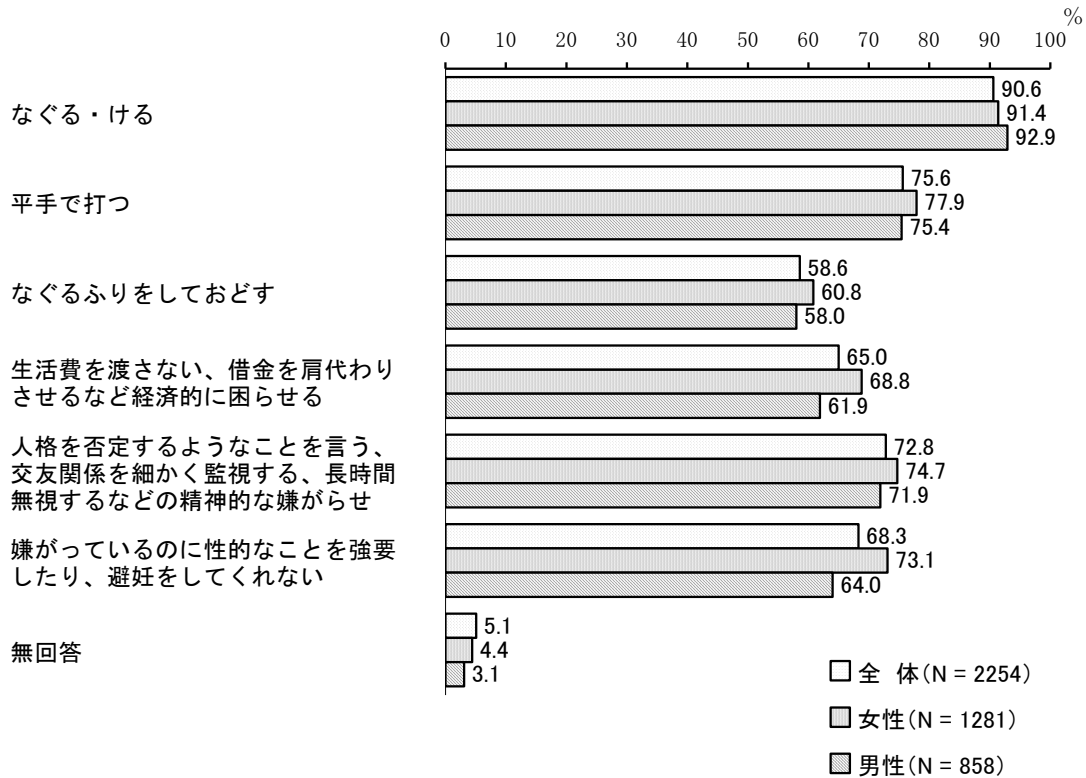


再び、全員の方にうかがいます。

問 40 あなたは、暴力である行為はなんだと思いますか。(〇はいくつでも)

「なぐる・ける」の割合が90.6%と最も高く、次いで「平手で打つ」の割合が75.6%、「人格を否定するようなことを言う、交友関係を細かく監視する、長時間無視するなどの精神的な嫌がらせ」の割合が72.8%となっています。

性別でみると、女性で男性に比べて「嫌がっているのに性的なことを強要したり、避妊をしてくれない」の割合が高くなっています。

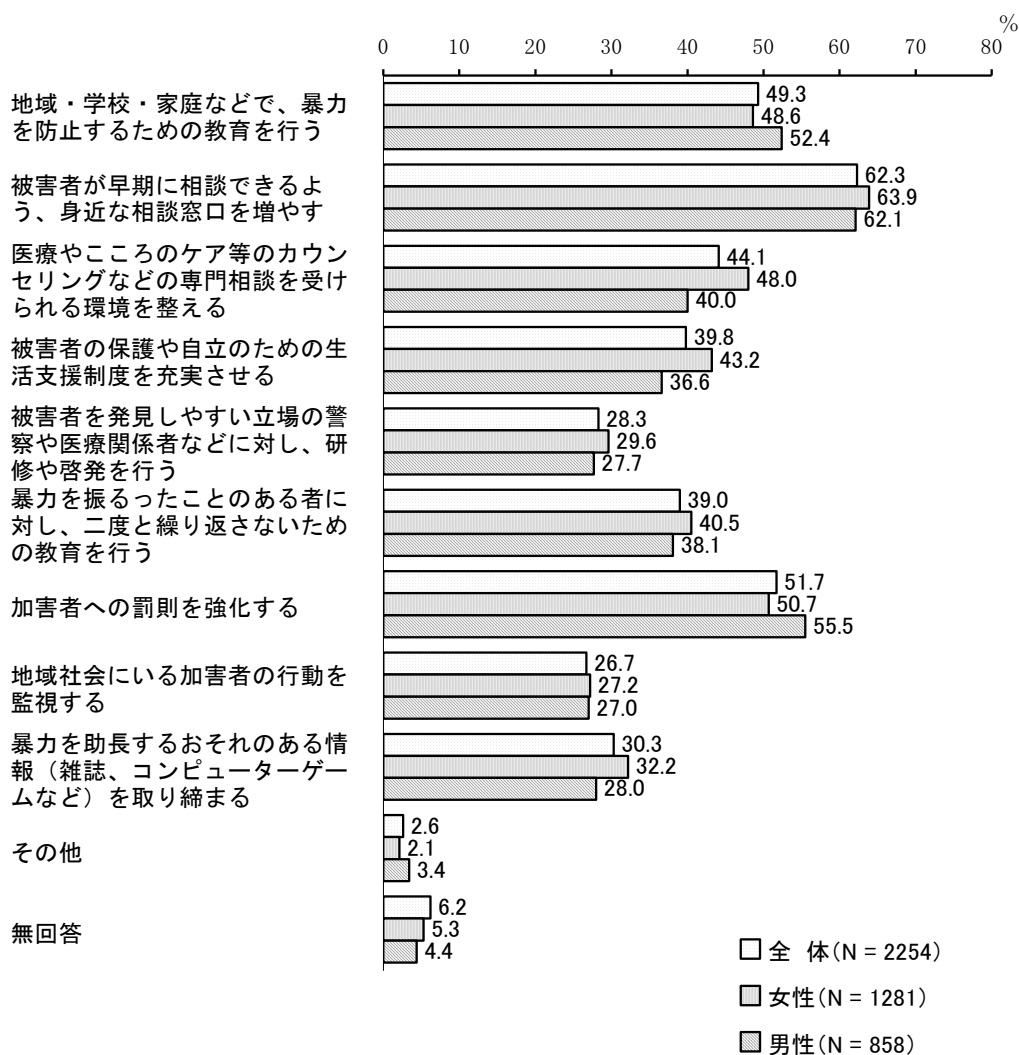


**問 41 男女間の暴力をなくすために、もっと取組みを進める必要があるのはどのようなことですか。**

「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「加害者への罰則を強化する」の割合が 51.7%、「地域・学校・家庭などで、暴力を防止するための教育を行う」の割合が 49.3%となっています。

性別でみると、女性で男性に比べて「医療やこころのケア等のカウンセリングなどの専門相談を受けられる環境を整える」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う」で 6.5 ポイント高くなっています。女性では「地域社会にいる加害者の行動を監視する」で 5.7 ポイント、「暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う」で 5.6 ポイント高くなっています。「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」では 6.1 ポイント低くなっています。男性では「暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う」で 7.0 ポイント高くなっています。「暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターゲームなど）を取り締まる」で 6.4 ポイント低くなっています。



【前回調査（平成 22 年）】

